日本福祉大学スポーツ科学部授業科目履修規程

第1章　総則

（趣旨）

第１条　日本福祉大学スポーツ科学部（以下、「本学部」という。）の授業科目の履修、及びこれに関する事項は、日本福祉大学学則（以下、「学則」という。）によるほか、この規程の定めるところによる。

第2章　卒業条件

（卒業条件）

第２条　本学部を卒業するためには、4 年以上在学するとともに第 4 学年を修了した上で、別表 1 に定める所定の単位を修得しなければならない。

2　「全学教育センター科目」は、別表 2 のとおり「総合基礎科目」として、卒業単位に算入する。

3　第 1 項の卒業要件を満たして卒業を許可された学生が、卒業延期を希望する場合は、学部教授会の決定により 1 年間に限り卒業を延期することができる。

第3章　授業科目と履修方法

（授業科目の種類）

第３条　本学部の授業科目、単位及び学年配当は別表 3 のとおりとする。

（履修方法・条件）

第４条　各科目の履修方法及び履修条件は別表 3 のとおりとする。

（資格関係科目）

第５条　教員の資格を取得するためには、別に定める規程に基づき履修しなければならない。

第4章　履修登録

（履修登録）

第６条　授業科目を履修し単位を修得するためには、毎学年の所定の期間に履修登録をしなければならない。

2　前項の規定にもかかわらず、後期の所定の期間に年間履修単位数の範囲内で履修登

録の修正を行えるものとする。ただし、通年開講科目の履修登録の修正は行えないものとする。

3　後期復学生、及び年度当初に履修登録を行わなかった者は前項の期間に後期開講科目に限り履修登録を行えるものとする。

4　病気、その他やむをえない理由により所定の期間に履修登録できない場合は、直ちに届け出て指示を受けなければならない。

（クラス登録）

第 7 条　履修登録に先立ちクラス登録を必要とする科目は別表 3 のとおりとする。クラス登録を行なわない場合は履修登録ができない。

（年間履修単位）

第 8 条　学年ごとの履修登録単位数の上限は別表 4 のとおりとする。

（履修の制限）

第 9 条　既に単位を修得した科目と同一または類似とみなされる科目は履修することができない。

2　前項にもかかわらず、「不合格」、「棄権」の評価が確定している科目の再履修を認めないことがある。再履修を認めない科目は別に定める。

3　上級学年配当科目は履修することができない。

4　同一時限に同時に開講される複数の科目を履修することはできない。

5　科目により、履修者の制限をすることがある。その場合は、毎年度、具体的に明示する。

第5章　所属学部以外の開講科目の履修

（履修の許可・範囲・条件）

第10条　所属する学部以外で開講されている授業科目の内、当該科目の開講学部が認めた科目を履修することができる。

2　所属する学部以外で開講されている授業科目は、第2学年次より履修することができる。

3　所属学部以外の学部で開講されている授業科目を履修する場合の配当年次は、当該科目が開講されている学部の配当年次に従う。

4　所属学部で開講されている科目と同一とみなされる授業科目は履修することができない。

5　キャンパス間移動を伴う履修については、連続する時限で履修することはできない。

6　所属学部以外に開講される履修許可科目は、毎年度提示する。

7　資格課程に開設された資格独自科目を履修する場合は、当該資格課程登録者のみ

が履修することができる。

（修得可能単位数）

第11条　前条により修得できる単位は、第7項の資格独自科目の単位を除き、他の大学または短期大学において修得した単位を含めて、60単位を限度として卒業単位に参入する。

2　本学部に入学または編入学・転入学・転籍を許可された者が、従前の大学等で既に履修した授業科目及びその修得単位を、本学部における授業科目の履修により修得したものとして認定を受ける場合は、その認定単位数も前項の卒業単位算入限度に含めるものとする。

第6章　留年生・復学・再入学生の履修

（4 年留年生の履修条件）

第 12 条　第 4 学年に留年した学生の履修条件は留年後所属した第 4 学年の履修条件による。

2　第4学年に留年した者が、前期終了後に卒業条件を充足した場合、本人の申し出により前期卒業を認める。

（復学・再入学生の履修条件）

第13条　復学、及び再入学した学生の履修条件は、新たに所属する学年の履修条件による。

第7章　授業

（授業の形態）

第14条　本学部における授業は、講義、演習、実験、実習もしくは実技のいずれかにより、またはこれらの併用により行うものとする。

2　第１項の授業のうち、全講の過半数を教室等において直接教授するものを「対面授業」という。

3　第１項の授業のうち、全講の過半数を学則25条に定める「多様なメディアを高度に利用して行う授業」にて教授するものを「メディア授業」という。

4 前項にいう「メディア授業」を、次の各号のとおり区分する。

（1）動画像データの視聴及び課題添削と質疑応答等を組み合わせて遠隔で実施する「オンデマンド授業」

（2）Web ビデオ会議システムを活用して同時双方向に遠隔で実施する「同時双方向型授業」

5　授業の形態は、その開講期間に応じて以下の各号のとおり区分する。

（1）通常授業は、通年、または半期、四半期で開講する。時間割は年度はじめ

に発表する。

(2) 集中授業は、集中授業期間に連続して開講する。集中授業期間、科目、日程は年度はじめに発表する。

(3) 補講は、休講等やむをえない事情で授業が予定通り終了しない場合、所定の補講期間に実施する。補講期間は年度はじめに発表し、科目、日程はその都度掲示で発表する。

（授業の変更）

第15条　年度途中、やむをえない事情で、授業の日程や教室を変更する場合がある。変更についてはその都度掲示する。

（授業への出席）

第16条　各科目の授業について、試験規程第7条に定める受験資格に必要な出席回数を満たしていない場合は、単位認定試験の受験資格を失う。

第８章　試験及び成績発表

（試験）

第17条　学則34条に基づく試験については、別に定める「日本福祉大学試験規程」による。

（成績発表）

第18条　成績の発表は、大学の指定する時期に行う。

（成績評価等）

第19条　成績は次の基準により評価を行い、60点以上を合格とする。

Ｓ（100～90点）Ａ（89～80点）Ｂ（79～70点）Ｃ（ 69～60点）Ｄ（59点以下）

2　前項にもかかわらず、一部の科目についてはＧ（合格）・Ｄ（不合格）により判定することがある。

3　従前の大学・学部等における修得単位の認定は、Ｎ（認定）とする。

4　試験規程第7条に定める受験資格の要件を満たしていない場合及び試験を受験しなかった場合は、Ｋ（棄権）とする。

第９章　実習費

（実習費）

第20条　実習科目については、履修にあたり別途実習費を徴収する場合がある。

第 10 章　規程管理

（規程の所管課室）

第21条　本規程は、美浜事務室が所管する。

（規程の改廃）

第22条　本規程の改廃は、スポーツ科学部教授会の審議結果の進達を受けて、学長が決定する。

附　則

1　本規程は、2017 年 4 月 1 日から施行する。
2　本規程は、2018 年 4 月 1 日から一部改正施行する。
3　本規程は、2019 年 4 月 1 日から一部改正施行する。
4　この規程は、2021 年 4 月 1 日より一部改正施行する。
5　この規程は、2022 年 4 月 1 日より一部改正施行する。
6　この規程は、2023 年 4 月 1 日より一部改正施行する。
7　この規程は、2024 年 4 月 1 日より一部改正施行する。
8　この規程は、2025 年 4 月 1 日より一部改正施行する。

別表１　卒業条件

授業科目区分	卒業条件
総合基礎科目	必修科目（6単位）を含む20単位以上修得していること
専門科目	必修科目（26単位）を含む76単位以上修得していること
	総計124単位以上を修得していること

別表２　全学教育センター科目の内、総合基礎科目修得単位数に算入する科目

授業科目名	配当学年	単位	ｸﾗｽ登録	履修方法	備考
こころとからだ	1	2		△	オンデマンド授業
視覚障害者支援論	1	1		△	
ろう文化と手話	1	2		△	
聴覚障害者の理解と支援	1	1		△	オンデマンド授業
ふくしとフィールドワーク	1	2		△	オンデマンド授業
法入門	1	2		△	
福祉社会入門	1	2		△	オンデマンド授業
知多学	1	2		△	オンデマンド授業
地震と減災社会	2	2		△	オンデマンド授業
福祉の力	1	2		△	オンデマンド授業
コミュニケーション力演習	2	2	○	△	
文章作成力演習	2	2	○	△	
ふくしと減災コミュニティ	2	2		△	オンデマンド授業
知多半島のふくし	1	2		△	オンデマンド授業
ふくしフィールドワーク実践A	2	2	○	△	
ふくしフィールドワーク実践B	2	2	○	△	
ふくしフィールドワーク実践C	2	2	○	△	
海外英語研修	1	2		△	
ヒューマンケアのための多職種連携	1	2		△	オンデマンド授業
スポーツ・文化特講Ⅰ	1	2		△	
スポーツ・文化特講Ⅱ	1	2		△	
日本福祉大学特別演習A	2	1		△	
日本福祉大学特別演習B	2	1		△	
日本福祉大学特別演習C	2	1		△	
日本福祉大学特別演習D	2	1		△	

日本福祉大学特別演習E	2	1		△	
言語と文化Ⅰ	1	1		△	
言語と文化Ⅱ	1	1		△	

「履修方法」欄　●：必修科目、◎：選択必修、○：全員履修、△：選択科目

別表 3　開講科目表

スポーツ科学部スポーツ科学科

①総合基礎科目

授業科目名	配当学年	単位	クラス登録	履修方法	備考
経営学	1	2		△	
スポーツ統計学Ⅰ(基礎)	1	2		△	
社会学	1	2		△	
哲学	1	2		△	
キャリア開発Ⅰ	2	2		△	
日本国憲法	1	2		△	
フレッシュマンイングリッシュⅠ－1	1	1	○	●	
フレッシュマンイングリッシュⅠ－2	2	1	○	△	
フレッシュマンイングリッシュⅡ－1	1	1	○	●	
フレッシュマンイングリッシュⅡ－2	2	1	○	△	
情報処理演習Ⅰ	1	2	○	●	
情報処理演習Ⅱ	1	2	○	○	全員履修
海外フィールドワーク	1	4		△	
スポーツ実技	1	2	○	●	
政治学	2	2		△	オンデマンド授業
キャリア開発Ⅱ	3	2		△	
スポーツイングリッシュⅠ	3	1		△	
経済学	2	2		△	
スポーツイングリッシュⅡ	3	1		△	
生命と環境	3	2		△	
キャリア実践Ⅰ	3･4	1		△	
キャリア実践Ⅱ	3･4	2		△	
日本福祉大学の歴史と学び	1	2		●	オンデマンド授業

「履修方法」欄　●：必修科目、◎：選択必修、○：全員履修、△：選択科目

②外国人留学生・帰国生徒の特例科目

授業科目名	配当学年	単位	クラス登録	履修方法	備考
日本語と文化Ⅰ－１	1	1	○	●	外国人留学生、及び帰国生徒入学試験入学生は、必修の「フレッシュマンイングリッシュ」に替えて履修することができる。
日本語と文化Ⅰ－２	1	1	○	●	
日本語と文化Ⅱ－１	1	1	○	●	
日本語と文化Ⅱ－２	1	1	○	●	
日本語と文化Ⅲ－１	2	1	○	●	
日本語と文化Ⅲ－２	2	1	○	●	
日本語と文化Ⅳ－１	2	1	○	●	
日本語と文化Ⅳ－２	2	1	○	●	

「履修方法」欄　●：必修科目、◎：選択必修、○：全員履修、△：選択科目

③専門科目

授業科目名	配当学年	単位	クラス登録	履修方法	備考
生理学	1	2		△	
スポーツ科学入門	1	2		●	
スポーツ史	1	2		△	
スポーツ文化論	1	2		△	
スポーツビジネス	1	2		△	
発育発達論（運動発達・認識発達・ことばの発達）	1	2		○	全員履修
機能解剖学	1	2		△	
認知心理学	1	2		△	
健康管理概論	1	2		△	
学校保健Ａ（小児・精神）	1	2		△	
野外スポーツ論	1	2		△	
スポーツ社会学	1	2		●	
ふくしスポーツ論	1	2		●	
スポーツ哲学	1	2		●	
スポーツマネジメント	1	2		△	
スポーツ教育学	1	2		△	
スポーツキャリア教育	1	2		○	全員履修 リレー講義
スポーツ統計学Ⅱ(応用)	2	2		△	
スポーツと脳	1	2		△	

授業科目名	配当学年	単位	クラス登録	履修方法	備考
スポーツ生理学	1	2		●	
スポーツ心理学	1	2		△	
障害者スポーツ論	2	2		●	
スポーツ倫理学	2	2		△	
身体表現・芸術表現論	2	2		△	
スポーツ・運動指導者論	2	2		○	全員履修 リレー講義
スポーツ医学Ａ（内科系）	2	2		△	
スポーツ栄養学	2	2		△	
コーチング科学	2	2		△	
特別支援教育論	2	2		△	
肢体不自由児教育論	3	2		△	
スポーツバイオメカニクス	2	2		△	
スポーツ人類学	2	2		△	
地域スポーツ論	2	2		△	
武道論	2	2		△	
スポーツジェンダー論	2	2		△	
スポーツ医学Ｂ（外科系）	2	2		△	
トレーニング科学	2	2		●	
測定・評価	2	2		△	
メンタルトレーニング	2	2		△	
知的障害児教育論	2	2		△	
スポーツ科学演習	2	2	○	●	
スポーツコミュニケーション	3	2		△	
スポーツメディア論	3	2		△	
レクリエーション理論	3	2		△	
衛生・公衆衛生学	3	2		△	
学校保健Ｂ（学校・救急処置）	3	2		△	
肢体不自由児の心理	3	2		△	
肢体不自由児の生理と病理	3	2		△	
障害者スポーツ指導法演習Ａ	3	1		△	
ふくしスポーツ演習	3	2		△	
スポーツ政策・行政論	3	2		△	

授業科目名	配当学年	単位	クラス登録	履修方法	備考
スポーツ法学	3	2		△	
アスレティックリハビリテーション	3	2		△	
加齢学	3	2		△	
肢体不自由児指導法	3	2		△	
障害者スポーツ指導法演習Ｂ	3	1		△	
コンディショニング演習	3	2		△	
インクルーシブ体育	3	2		△	
スポーツフィールドワークⅡ－１	3･4	2		△	
スポーツフィールドワークⅡ－２	3･4	2		△	
専門実技（ダンス）	2	1	○	◎	専門実技５単位以上修得
専門実技（野外運動Ａ）	1	1	○	◎	
専門実技（陸上）	1	1	○	◎	
専門実技（バスケットボール）	1	1	○	◎	
専門実技（器械運動）	2	1	○	◎	
専門実技（水泳）	2	1	○	◎	
専門実技（バレーボール）	2	1	○	◎	
専門実技（柔道）	2	1	○	◎	
専門実技（アダプテッド・スポーツ）	1	1	○	◎	
専門実技（サッカー）	2	1	○	◎	
専門実技（バドミントン）	2	1	○	◎	
専門実技（野外運動Ｂ）	2	1	○	◎	
専門実技（野外運動Ｃ）	3	1	○	◎	
専門実技（ソフトボール）	3	1	○	◎	
専門実技（テニス）	3	1	○	◎	
専門実技（卓球）	3	1	○	◎	
専門実技（剣道）	3	1	○	◎	
スポーツ指導法演習（陸上）	2	1	○	◎	スポーツ指導法演習及び保健体育科教育法Ⅱから、スポーツ指導法演習１科目を含む３科目以上修得
スポーツ指導法演習（バスケットボール）	2	1	○	◎	
スポーツ指導法演習（水泳・水中運動）	2	1	○	◎	
スポーツ指導法演習（ダンス）	2	1	○	◎	
スポーツ指導法演習（バレーボール）	3	1	○	◎	
スポーツ指導法演習（サッカー）	3	1	○	◎	
スポーツ指導法演習（テニス）	3	1	○	◎	

授業科目名	配当学年	単位	クラス登録	履修方法	備考
スポーツ指導法演習（バドミントン）	3	1	○	◎	スポーツ指導法演習及び保健体育科教育法Ⅱからスポーツ指導法演習１科目を含む３科目以上
スポーツ指導法演習（卓球）	3	1	○	◎	
スポーツ指導法演習（ゴルフ）	4	1	○	◎	
スポーツ指導法演習（エアロビクス）	3	1	○	◎	
スポーツ指導法演習（レクリエーション・ニュースポーツⅠ）	4	1	○	◎	
スポーツ指導法演習（レクリエーション・ニュースポーツⅡ）	4	1	○	◎	
保健体育科教育法Ⅰ（授業づくりの基礎理論）	2	2	○	△	
保健体育科教育法Ⅱ－Ａ（陸上・器械運動）	2	2	○	◎	
保健体育科教育法Ⅱ-B(球技・水泳)	3	2	○	◎	
保健体育科教育法Ⅱ－Ｃ（武道）	3	2	○	◎	
保健体育科教育法Ⅱ－Ｄ（ダンス・体育理論）	3	2	○	◎	
保健体育科教育法Ⅲ（授業づくり）	3	2	○	△	
導入ゼミ	1	2	○	●	
スポーツフィールドワークⅠ	2	2	○	●	
専門演習Ⅰ	3	2	○	●	
専門演習Ⅱ	4	4	○	●	

「履修方法」欄　●：必修科目、◎：選択必修、○：全員履修、△：選択科目

④自由科目（資格関係科目含む）

授業科目名	配当学年	単位	クラス登録	履修方法	備考
教職入門（中高）	1	2		△	
知的障害児の心理	2	2		△	
視覚・聴覚・病弱児論	2	2		△	
教育原理（中高）	2	2		△	
教育と発達の心理学（中高）	2	2		△	
特別支援教育概論（中高）	1	2		△	
総合的な学習の時間の指導法（中高）	3	2		△	
教育制度論（中高）	2	2		△	
教育課程論（中高）	2	2		△	
教育相談の基礎と方法（中高）	2	2		△	
知的障害児の生理と病理	2	2		△	

道徳教育の指導法（中）	2	2		△	
授業科目名	配当学年	単位	クラス登録	履修方法	備考
教育方法論(情報通信技術を含む)(中高)	2	2		△	
知的障害児指導法	3	2		△	
生徒・進路指導論（中高）	3	2		△	
発達障害児論	3	2		△	
特別支援教育課程論	2	2		△	
特別活動方法論（中高）	3	2		△	
重度重複障害児指導法（総論）	3	2		△	
教育実習Ⅰ（中高・事前事後）	3～4	1	○	△	
教育実習Ⅱ（中高）	4	4	○	△	
教育実習Ⅲ（中高）	4	2	○	△	
障害児教育実習Ⅰ（事前事後）	4	1	○	△	
障害児教育実習Ⅱ	4	2	○	△	
教職実践演習（中高）	4	2	○	△	
健康運動特論Ⅰ	3	2		△	
健康運動特論Ⅱ	4	2		△	
健康運動特論Ⅲ	3	1		△	
健康産業施設現場実習	3	2		△	
ビジネススキル	1	2		△	オンデマンド授業

「履修方法」欄　●：必修科目、◎：選択必修、○：全員履修、△：選択科目

別表 4　年間履修単位

	4 年在学
第 1 学年	48 単位以内
第 2 学年	48 単位以内
第 3 学年	48 単位以内
第 4 学年	48 単位以内

■　上記には、所属学部以外の開講科目の履修、及び単位互換による履修を含む。ただし、卒業単位に算入しない自由科目は含まない。